



# 豊島区

平成30年度～  
平成35年度  
(2018～2023)

## 地域保健福祉計画

翔子



平成30(2018)年3月

豊島区

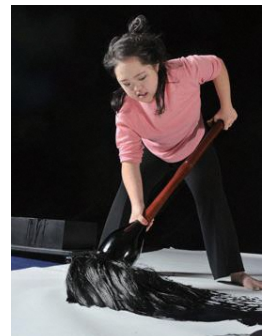


### 〔表紙の作品紹介〕

表紙にデザインされているのは、書家の金澤翔子さんの作品です。平成29年11月に豊島区役所で開催された「2017アジア・パラアート-書-TOKYO」国際交流展(77ページ参照)で特別揮毫(きごう)が行われたこの「共に生きる」のもつ力強いメッセージは、豊島区が掲げる本計画の理念やめざす姿に通じることから、今回、金澤さんのご協力のもと、表紙へ使用させていただきました。

### かなざわ しょうこ 金澤 翔子 プロフィール

1985年東京都生まれ。5歳から母に師事し書を始める。27歳、NHK大河ドラマ「平清盛」揮毫。28歳、国体の開会式で揮毫。天皇の御製を揮毫。30歳、国連本部でスピーチ。各地の寺社等で揮毫・奉納。福島・銀座・京都に美術館を開設。国内外で個展多数。日本福祉大学客員准教授。







## 豊島区地域保健福祉計画の策定にあたって

このたび、平成30年度から6年間にわたる本区の保健福祉行政の指針となる「豊島区地域保健福祉計画」を策定いたしました。

この計画は、「個人の尊厳が守られ、すべての人が地域でともに支え合い、心豊かに暮らせるまち」を基本理念に据え、平成17年3月に初めて策定したものです。国では平成28年に「地域共生社会」の実現を掲げ、全国に展開していこうとしていますが、本区においてはその10年以上も前から、地域共生社会実現に向けた取り組みを実践してきたところです。

さて、この10年は、豊島区が大きく変わった時期でもありました。

厳しい財政状況の中、文化によるまちづくり、安全・安心のまちづくりを進め、人口も着実に増加してきた矢先の平成26年5月には、23区で唯一「消滅可能性都市」の指摘を受けました。しかし、区は区民の皆さんとともに敢然と立ち向かい、ピンチをむしろ飛躍のチャンスにと転じてまいりました。

平成27年5月の新庁舎移転、同年8月の池袋駅周辺への特定都市再生緊急整備地域の指定をはじめ、平成29年4月の待機児童ゼロ達成、8月の「東アジア文化都市」国内候補都市の決定、さらに年末には「共働き子育てしやすい街ランキング」で全国総合1位になるなど、これまでの取り組みが着実に実を結びつつあります。

一方、少子高齢化が一層進展するとともに、子ども・子育て支援新制度の開始、介護保険制度の改正、障害者差別解消法の施行、生活困窮者自立支援制度の本格実施など、区民福祉を取り巻く環境は大きく変わってきています。

これらの制度改正に着実に対応しつつ、制度の狭間や複合的な課題に積極的に取り組むことにより、区民一人ひとりが安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていかなければなりません。

本計画の策定に当たりましては、区民意識・意向調査やパブリックコメント等で区民の皆様のご意見をお伺いするとともに、平成27年度からの3年間、延べ11回にわたる豊島区保健福祉審議会、また同じく11回にわたる豊島区保健福祉審議会専門委員会において熱心にご議論をいただきました。田中英樹会長、神山裕美副会長をはじめとする学識経験者の皆様、医師会・歯科医師会・薬剤師会など医療の専門家の皆様、福祉施設や福祉事業に携わっている福祉の専門家の皆様、地域福祉にご尽力いただいている町会・自治会、民生委員・児童委員、青少年育成委員、当事者団体、公募区民、区議会議員の皆様にご参画をいただき、まさに豊島区の保健福祉に関する英知を結集した計画であるといっても過言ではございません。衷心より厚く御礼を申し上げます。

誰もがいつまでも安心して住み続けられるまちをめざし、豊島区は挑戦し続けてまいります。

平成30年3月

豊島区長 高野之史



## 目次

<b>第1章</b>	<b>計画の基本的な考え方</b>	<b>1</b>
1.	計画策定の趣旨	2
2.	計画の性格	3
3.	計画の期間	5
4.	計画の基本理念と基本方針	6
<b>第2章</b>	<b>計画の背景</b>	<b>7</b>
1.	地域保健福祉を取り巻く国・東京都の動向	8
2.	地域保健福祉を取り巻く豊島区の動向	12
3.	豊島区の現況	18
4.	区民ニーズの把握	32
<b>第3章</b>	<b>施策の方向</b>	<b>37</b>
1.	豊島区版「地域共生社会」の実現に向けて	38
2.	区民の支援ニーズに目を向けた目的別の施策体系	39
3.	豊島区の特性を踏まえた連携と協働による地域保健福祉の推進	40
4.	施策の体系	41
<b>第4章</b>	<b>施策の内容</b>	<b>43</b>
施策①	新たな支え合いの推進と コミュニティソーシャルワーク機能の強化	44
	○コミュニティソーシャルワーカーの強化による地域づくりの推進	
	○地域における新たな支え合い活動の促進と担い手の養成	
	○地域区民ひろば等を活用した 福祉コミュニティの拠点づくりと多彩な居場所づくり	
	○地域住民や地域活動団体等との連携と協働の仕組みづくり	
	○福祉教育の推進	
施策②	包括的な相談支援体制の構築	52
	○専門相談支援機関の強化	
	○より身近な地域の相談先の充実	
	○包括的な相談支援体制の確立に向けた分野横断・連携の強化	
施策③	問題の早期発見・早期対応の強化	57
	○アウトリーチ活動の推進による問題の早期発見・早期対応	
	○地域における見守りの推進	
	○予防の取り組みの強化	



<b>施策④ 地域生活支援の充実</b>	60
○地域生活を支える切れ目のない支援	
○生活困窮者等の自立支援	
○多様な社会参加の促進	
○多様な働き方に向けた支援	
○多様な住まい方に向けた支援	
<b>施策⑤ 権利擁護の推進</b>	66
○人権意識の普及・啓発	
○虐待防止および権利擁護体制の強化	
○子ども・若者の貧困対策	
<b>施策⑥ 保健福祉人材の育成とサービスの質の確保および向上</b>	69
○保健福祉専門職等の育成	
○保健福祉サービスの質の確保および向上	
<b>施策⑦ 災害時の福祉・医療・保健衛生体制の整備</b>	71
○災害時要援護者等への支援体制の整備	
○防災対策を通じた地域づくり	
○災害時の医療・保健衛生体制の構築	
<b>施策⑧ 福祉のまちづくりの推進</b>	74
○まちのバリアフリー化等の推進	
○情報アクセシビリティの強化	
<b>施策⑨ 福祉と文化の融合</b>	76
○文化の力を活かした地域づくり	
○多文化共生の促進	
○東京オリンピック・パラリンピックを契機とした スポーツ文化の醸成	

## 第5章 計画の推進に向けて 79

1. 地域保健福祉計画の推進方策	80
2. 地域保健福祉計画の進捗管理	81
3. 今後の改定に向けた考え方	82

## 資料編 83



コラム No.1	社会福祉協議会はどんなことをしているの？	3
コラム No.2	「ごみ屋敷」の事例から、 一人の課題と地域の課題について考える	42
コラム No.3	地域の小さなアンテナ役「地域福祉サポーター」	46
コラム No.4	街全体をキャンパスに！ 豊島区と区内大学との地域連携に関する包括協定	51
コラム No.5	サービ斯拉ーニングの取り組み 大正大学＋豊島区＋豊島区民社会福祉協議会	51
コラム No.6	民生委員・児童委員とは	54
コラム No.7	青少年育成委員とは	54
コラム No.8	福祉なんでも相談窓口	55
コラム No.9	アウトリーチ活動とは	57
コラム No.10	保護司とは	62
コラム No.11	ひろがっています。「集いの場・サロン」の活動	63
コラム No.12	ようこそ「caféふれあい」へ！ ～笑顔がふれあう居場所で自分らしく～	64
コラム No.13	成年後見制度とは	66
コラム No.14	としま子ども学習支援ネットワーク「とこネット」	68
コラム No.15	「災害時要援護者及び避難行動要支援者名簿」と 「要支援者地域共有名簿」は同じもの？	72
コラム No.16	福祉救援センター（福祉避難所）とは	72
コラム No.17	障害者まち歩き調査	75
コラム No.18	パラアート展で「書」の魅力を世界に発信	77